

天理市埋蔵文化財センターだより

Vol.14

平成24年度夏の文化財展

『発掘の現場から―地下に眠る天理の昔々―』

お ば か こ ふ ん

小墓古墳

―古墳を飾る埴輪と木製品―

小墓古墳 埴輪 木製品

◎平成24年度夏の文化財展

お ば か こ ふ ん

小墓古墳

―古墳を飾る埴輪と木製品―

平成24(2012)年8月11日(土)～26日(日)

※ 9:00～17:00

※ 13日(月)、20日(月)は休館

天理市文化センター
1階展示ホールにて

◎文化財講演会・展示解説

8月19日(日)14:00～

1階展示ホールにて

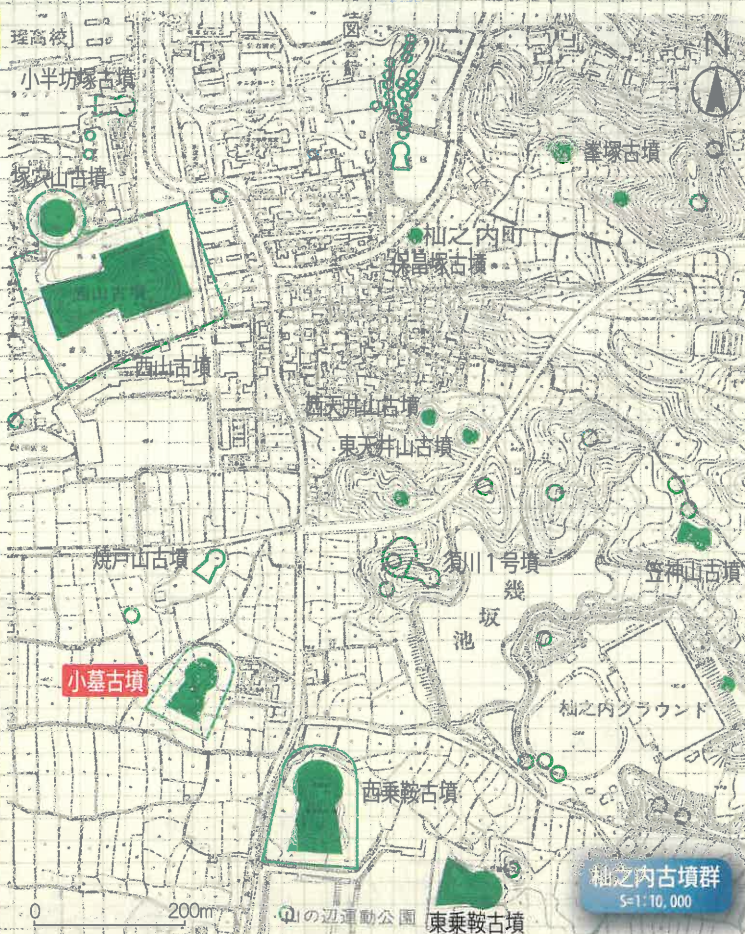
天理市教育委員会文化財課がこれまでに実施した市内の遺跡の発掘調査により、多くの成果が得られてきました。それらの成果の一部について、平成18年度より夏と冬、年2回の文化財展示をおこない、市内の埋蔵文化財について理解を深めていただけるように努めています。

今回の「センターだより」は平成24年度夏の文化財展の内容にあわせ、天理市杣之内町に所在する小墓古墳の発掘調査をご紹介しますとともに、出土した数々の埴輪や木製品をご覧ください。

杣之内古墳群

杣之内古墳群は天理市杣之内町一帯に広がる古墳群です。国内最大の前方後方墳である西山古墳をはじめとして、大小の前方後円墳や円墳が点在しています。

古墳時代後期になると、古墳群の南部に西乗鞍古墳・東乗鞍古墳・小墓古墳が相次いで築かれます。西乗鞍古墳は長さ118mあり、発掘調査により埴輪等が出土しています。東乗鞍古墳は長さ75mあり、後円部に横穴式石室があります。



小墓古墳の発掘調査

小墓古墳は杣之内古墳群に所在する古墳時代後期の前方後円墳です。墳丘は現状で長さ約80mあり、現在は耕作地として利用されています。墳丘の周囲をみると、かつての周濠が水路や道の形状に名残をとどめていることがわかります。

天理市教育委員会は昭和62・63年度に杣之内浄水場の拡張に伴う発掘調査を実施しました。小墓古墳の東側周濠を確認し、周濠内から多量の埴輪や木製品が出土しました。



確認された周濠は幅12～13mあり、底までの深さは現在の地面から約2.8mあります。古墳の築造後、次第に周濠が埋まりはじめ、中世にはほぼ埋没してしまったようです。

周濠の最下層から見つかった埴輪や木製品の多くは、もともと墳丘に並べられていたものと考えられます。多量の木製品の発見は、古墳祭祀に関するそれまでの認識を大きく塗り替えるきっかけとなりました。

小墓古墳の埴輪

周濠内からは円筒埴輪が多量に出土したほか、家形埴輪や各種の形象埴輪も見つかりました。

家形埴輪は円柱を持つ高床式のもので、出土した破片から屋根は入母屋造りであったと考えられます。もともとは高さ1mを超える大型品です。円柱を持つ高床式の家形埴輪は全国でも十数例しか出土していない貴重なものです。



家形埴輪の出土状況



家形埴輪(高床を支える円柱)



人物埴輪(男性)



鳥形埴輪



水鳥



蓋形埴輪
出土状況



動物埴輪



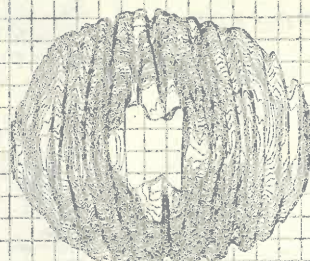
蓋形埴輪

盾持ち人を表現した人物埴輪や、鶏や水鳥を表現した鳥形埴輪があります。地位の高い人にさしかける笠を表現したとされる蓋形埴輪も多数見つかっています。

小墓古墳の木製品



笠形木製品



実測図



翳形木製品



盾形木製品



木製品の出土状況



周濠内で見つかった柱跡

木製品も多種多様です。地位の高い人物にさしかけるものをかたどった笠形木製品や翳形木製品、表面に線刻のある盾形木製品などが見つかっています。

周濠内からは柱跡が複数見つかっています。同様の調査事例は近年各地で増加しており、埴輪とともに柱や木製品を周囲に並べた築造当時の姿が浮かび上がります。

出動！発掘現場レポート！！

平成23年度下半期の調査

天理市教育委員会は平成23(2011)年度下半期に発掘調査を3件実施しました。ここではその成果をいち早くお知らせいたします。

■平成23年度名阪道路(天理地区)

市道拡幅工事に伴い喜殿町内で発掘調査をおこないました。調査では奈良時代～平安時代ごろの条里坪界を区切る溝が見つかりましたが、中ツ道の側溝等は検出することができませんでした。

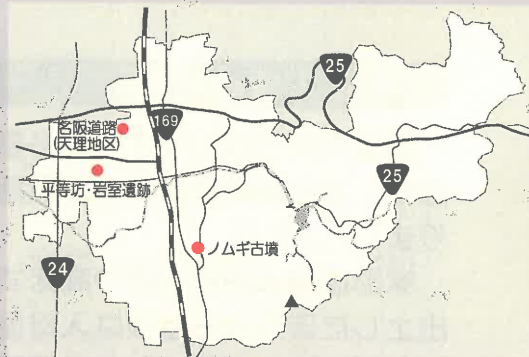
■ノムギ古墳第5次

大和古墳群基礎調査の一環として、昨年に引き続きノムギ古墳（前方後方墳）の範囲確認調査をおこないました。墳丘本体をはじめて本格的に調査し、墳丘盛土の構造や葺石の有無に関する手がかりを得ることができました。

■平等坊・岩室遺跡第34次

市道拡幅に伴い平等坊町内で発掘調査をおこないました。調査地は弥生環濠集落の縁辺にあたり、集落と低地部の境界の状況が明らかになりました。

平成23年度の調査成果は
今年冬の文化財展で
展示するよ！



■平成23年度下半期の調査遺跡



■ノムギ古墳第5次
全景(上空から)

黒塚古墳展示館開館10周年記念行事のご案内

天理市立黒塚古墳展示館は平成24年10月に開館10周年を迎えます。さまざまな記念行事をおこないますのでぜひお越しください。

講演会 『黒塚古墳の調査成果から』(仮題)

黒塚古墳を調査担当者が語ります。

講師 泉 武氏(元 天理市教育委員会生涯学習課課長補佐)

日程 平成24年9月15日(土) 15:00～17:00

会場 天理市障害者ふれあいセンター(黒塚古墳展示館北隣)

◆ 入場無料・申込不要

写真展示 『黒塚古墳展示館ができるまで』

黒塚古墳展示館の開館までを写真パネルで振り返ります。

期間 平成24年10月2日(火)～10月31日(水) 9:00～17:00 ※休館日があります。

会場 黒塚古墳展示館

◆ 入場無料

古墳見学会 『大和・柳本古墳群を歩く』

文化財課職員が大和・柳本古墳群をご案内します。

日程 平成24年10月6日(土) 小雨決行

集合 黒塚古墳展示館前 9:30

解散 JR長柄駅 16:00

申込 8月13日より9月14日まで受付 Tel:0743-65-5720(土、日、祝日は電話受付はありません)

◆ 参加無料・申込必要



天理市立黒塚古墳展示館

黒塚古墳展示館 秋の開館予定

平成24年9月の開館予定							平成24年10月の開館予定						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1							6
2	休館	4	5	6	7	8	9	休館	2	3	4	5	6
9	休館	11	12	13	14	15	16	休館	10	11	12	13	14
16	休館	18	19	20	21	22	23	休館	16	17	18	19	20
23	休館	25	26	27	28	29	30	休館	23	24	25	26	27
30	休館							休館	30	31			

発行◆天理市教育委員会 文化財課

天理市埋蔵文化財センター

〒632-0017 奈良県天理市田部町320

Tel・Fax 0743-65-5720

印刷◆富光株式会社

※「天理市埋蔵文化財センターだより」Vol.15 は、平成24年冬発行予定です。
お楽しみに！！